

「効果的な生活習慣病対策保険事業の進め方」

地域における取組み



君津市

君津市の紹介 その1



人口（平成21年度3月末現在）8万9968人

国保加入率 31.5%

房総半島の中南部に位置し、千葉県下第2の面積

君津駅を軸にした市街地と小糸川・小櫃川の流域に沿って田園地帯が形成されている

昭和40年代に製鉄所の操業開始により人口が増加する



(C)Mapion

君津市の紹介 その2

特定健康診査等実施計画より

死亡統計

順位	原因
1位	悪性新生物
2位	心疾患
3位	脳血管疾患

国・県に比して高い割合

介護保険の状況

順位	支援1～介護2	介護3～5
1位	脳血管疾患	脳血管疾患
2位	糖尿病性合併症	慢性関節リウマチ
3位	慢性関節リウマチ	初老期における痴呆

人工透析の実態 (H18身体障害者手帳の申請者内訳より)

糖尿病性腎症の割合30%を超えている

君津市の紹介 その3

特定健康診査等実施計画より

生活習慣病の受療状況 (レセプト分析をしてわかったこと)

- 高血圧、脂質異常症、糖尿病を併せ持ち、治療を受けている傾向がみられる
- 若い年代から生活習慣病で治療を受けている方がいる(治療を受けず潜在している者も多いのでは・・・)

健診受診率(平成18年度)

	40～74歳	40～64歳
受診率	29.3%	17.5%

低い受診率。その中でも男性の腹囲有所見者は、半数以上いる。「血圧＋脂質」の危険因子を併せ持つものが40代から多くいた。

君津市の特定健診・特定保健指導

役割分担

特定健診 国民健康保険課

保健指導 健康管理課(衛生部門) 保健師が兼務辞令

- 平成19年度の特定健診等実施計画策定から連携。

メリット: 特定保健指導対象外の方にも同時進行で対応ができる。

デメリット: 国民健康保険課は、特定健診関係の問い合わせ等で大混乱

君津市の特定健診

健診の時期、健診形態

- 40歳～64歳 集団健診 5/7～5/30
- 65歳～74歳 個別健診 9/1から11/30

【健診の工夫点】

受診券発送時、対象者へ以下の内容について周知

- 君津市国保の健診受診率の現状
- 国の示す目標値が達成できなかった際のペナルティの仕組みについて
- 健診費用を無料化→かかっている費用の紹介

健診項目に追加項目

- HbA1c、クレアチニン(e-GFR)・尿酸

君津市の特定健診

受診率

42.8%にアップ

特に若い年代の受診率が増えました！

	平成19年度	平成20年度
40～64歳の受診率	16.7%	33.6%

テレビや新聞の報道でメタボ健診受診への関心も報道も追い風に??



平成21年度は、インフルエンザ……

(住民が集団を避け受診率が下がったと言うより、メタボの話題が少なくなった方が原因だと思うが……)

平成21年度は……

君津市の保健指導の始まり

～集団健診分～

健診の問診

- ・ 受診者全員に制度の説明と今後の保健指導の流れを説明

【内容】

- ・ 結果の返し方

情報提供→郵送 特定保健指導対象者→健診結果説明会(手渡し)

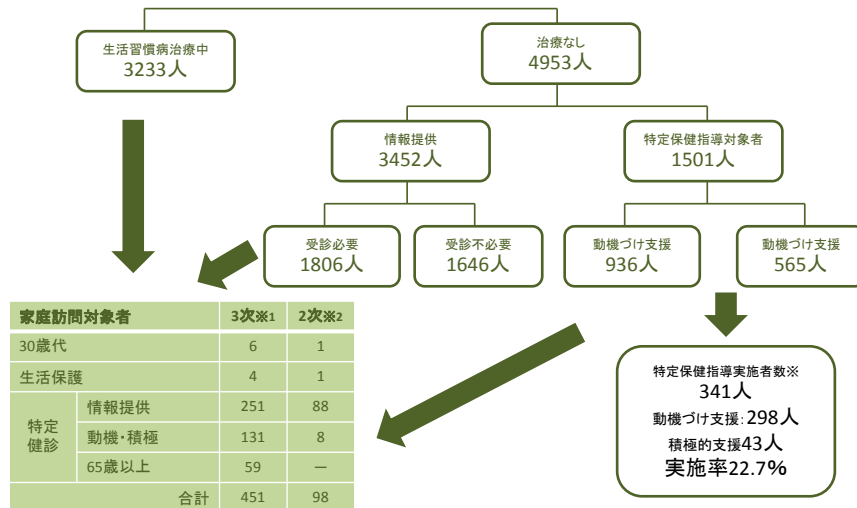
- ・ 訪問指導の対象者

2・3次予防訪問

- ・ 在宅確認表で連絡の取りやすい時間帯の把握

保健事業の対象者

様式6-10抜粋



※1 市独自の基準 ※2 異常値に7個以上の重なりのあるもの

※平成20年度の特定保健指導はまだ終了していないため見込み数

君津市の特定保健指導

～集団健診分～

健診結果説明会

実施期間6/25～7/27 25日間で49回実施

工夫点: 健診と同じ曜日、時間帯で設定

初回面接の実施

支援形態: グループ支援

- 欠席者には、電話連絡を行い、可能な限り直接健診結果を受け取る時間をつくっていただく

結果説明会の成果

～集団健診分～

	対象者	初回面接実施者	割合
動機づけ支援	218人	151人	69.3%
積極的支援	565人	332人	58.8%
合 計	783人	483人	61.7%

- ・ 目標設定まで至らないが会場(窓口)まで足を運んでくれた方 約8割
- ・ 教室への申込み 定員86名 → 102名申込み

君津市の特定保健指導

～個別健診～

- ・ 集団健診と同様に特定保健指導対象者には、健診結果説明会を実施し、健診結果を返却する予定でしたが……

対象者(動機づけ支援)	初回面接実施者	実施率
718人	148人	20.6%

6か月後評価は、郵送によるアンケート

【対策】平成21年度からは

- ・ 医療機関より市に直接電子媒体で結果を提出
- ・ 医療機関に特定健診・保健指導を周知

やはり……健診結果を返却してしまうと健診結果説明会への参加者は少ない

君津市の特定保健指導

～集団健診分～

市街地、山間部の2箇所で開催を実施

- 部分委託
- 主な教室運営は委託。中間・最終面接、欠席者対応などは、市が実施。
- 動機付け支援も参加可
- お申込み102人→開始時77人（動機27人積極50人）

自分で頑張るコース

- 6か月後評価は、アンケートを実施
- 実施率アップには繋がらないが、ポイント獲得をしていない積極的支援の方にも実施

君津市ヘルシーSlim教室

獲得ポイント

A:280P

B:20P

合計300P

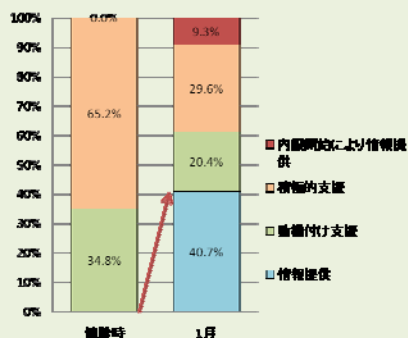
約 6 ヶ 月



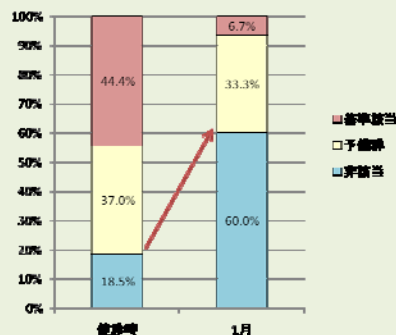
特定保健指導の成果

中間面接と最終面接まで継続参加できた55人の変化

特定保健指導階層化の変化



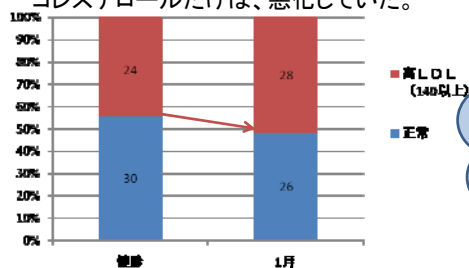
メタボリックシンドローム判定の変化



心残り...

「痩せているのにLDLが上がっている方が多くない・・・？」

メタボリックシンドローム判定に必要な検査項目は、全て改善傾向であったがLDLコレステロールだけは、悪化していた。



個の病態に合せた食事指導の大切さを再確認

	10以上増加した者	LDL平均
市街地コース	17人 (43.6%)	8
山間部コース	4人 (26.6%)	-1



(最終面接で)
「何をどのくらい食べたらいいかわからない」→確認
「そういえば炭水化物を減らす割合が多かったかな」

ターゲットが国保に絞られて気づいたこと

受診券を個別通知、健診費用無料

- 今まで健診を受けていなかった方の受診のきっかけとなる。

今まで見たこともない
健診結果(数値)にビックリ！

医療費にお金が優先されない方との出会い

- 訪問すると「お金(保険料)・・・？」と聞かれることも

➡ だからこそ、「健康」を守ってほしい

衛生引き受け型の意義

特定保健指導以外の対象者への対応

- 情報提供であるが受診・生活指導が必要な者の対応
- 生活習慣病治療中であるがコントロール不良な者の対応

➡ 健康増進法の訪問事業等に対応

特定保健指導実施率に繋がらない方の保健指導

他の検診事業との連動

市民全体へのポピュレーションアプローチ

君津市のこれからの課題

医療費の削減を目指して

健診受診率

- 未受診者対策
- 医療機関との連携
- 他の法令に基づく受診者の健診データの取込み

特定保健指導の実施率

- 利用者の参加しやすい環境づくり

メタボリックシンドローム改善率

- 効果的な保健指導を実施するため保健師・管理栄養士のスキルアップ

特定保健指導以外の対応

- 医療機関等連携

データの管理

などなど・・・

課題はいっぱいですが・・・

限られたマンパワーの中で

- 国保部門との連携
お互いの専門性を活かす
- 効果的な事業を実施するために実態把握、
分析をし、計画化をしていく
保健師・管理栄養士の力量形成
住民に正確な情報を伝えしていく

身体もお財布も健康な君津市を
目指して！



ご清聴ありがとうございました。